

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・IK	写真・GT
山行NO. 1868			
日 時	2020年5月30日(土) 晴れ時々雷・小雨		
山 域	越前岳 1504m ブナ植樹地手入れ		
コース	長泉 7:00ー山神社駐車場発 8:35ー越前岳頂上 11:50 昼食・作業ー下山開始 13:18ー山神社駐車場着 14:56ー合谷さん宅ガレージにて直会 18:30ー長泉		
累計標高差	上り	山神社 750m~越前岳 1504m=約 754m	
	下り	同上	
藪漕度	上り	なし	
	下り	なし	
難易度	非常に困難	困難	やや困難 レ普通 やや易しい 易しい
<b>越前岳・植樹地保護ボランティア活動</b>			
参加者	後藤、加藤、星、合谷、井上=5名		

登山を始め主要な山岳会が自粛を解いた。100 km以内の移動、日帰り登山、5人以内のグループでということだった。

7:10に新潟運輸下バス停での合流。裾野で合谷さんと合流。2か月山に行かない間、8kgを背負い千福のアップダウンを歩き訓練をしていたそうだ。それでも流行りのコロナ太りで体重はプラス2kgとのこと。新型コロナの非常事態宣言が解除されてから初めての土曜日とあって、国道246号線は以前のにぎわいを取り戻していた。サファリパークが近づくと渋滞が始まった。

山神社の駐車場は満車で20台ほど。ロープ区画のない3列目まで駐車が始まっていた(下山後には、3列目がしっかり並んでいた)。県外ナンバーがあり、腹立たしくなる。先々週は丹沢で我々が県外ナンバーだったから湘南ナンバーは許して進めよう。しかし、東京や横浜ナンバーをみるとぞっとする。ましてやこの台数。頂上にはどれだけの人がいるだろうか。

今回は、私たち裾野麗峰山の会が20年来行っている(注・1)越前岳頂上の植生の境界用ロー



ブと杭の交換、および観察ブナの調査が目的だった。新しい杭（5 cm角、長さ 80 cm）15 本とトラロープ 50m ペンキを塗った杭 1 本、ハンマー、大鎌、鋸を分担して持つ。私は若いということで杭 8 本を担当、合谷さんは 4 本、後藤さんは 3 本。ロープとハンマーは女性陣担当。荷物が重いので食糧以外は置いていくよう指示があり、カッパなどを置いていった。杭は後日調べたら 1 本 1.6kg で 8 本で約 13kg。その他に水 3.5kg、ビールと保冷剤で 1kg。これで 18.5kg。あとは食糧やら予備バッテリーなど。まあ 20kg というところか。

いつもは、大沢から割石峠→呼子岳→越前岳→富士見峠→愛鷹山荘→神社の時計回りだが、今回は荷が重いので反時計回りに行く計画だった。しかし、最近の加藤さんの脚へのダメージを考慮し、いきなり急登にならない大沢から回るいつもと同じ時計回りとなった。



トーキョーの方

後ろから単独の男性が私たちを追い抜いたが、しばらくすると、前から戻ってきて、位牌岳の入り口を通りすぎたとのこと。聞けば、東京から今朝出て、電車、バスを乗り継ぎ入り口まで来たとの事。遠いところからよく来ますね。

東京からわざわざ電車やバスでコロナの可能性を引きずってこなくてもいいのにと思いながら、距離を置いて話を聞く。位牌から下りたら、沼津駅まで歩くというので、やめておいたほうが良い、ふもとの「御殿場線・長泉なめり駅」を目指したほうが良いとアドバイスした。

下山後、沼津駅まで歩いたらそれだけで少なくとも 4 時間はかかるだろう。私たちが杭を背負っているので、この方を始め、一日中、出会う人に理由を聞かれ説明すると、そのたびに「ご苦労様です」と言われた。感謝されるとがぜんやる気もでる。

道中、鹿の骨が落ちていた。頭蓋骨の上あごと下あごが丁寧に岩の上に並べられており、地面には鹿の茶色い短い毛や骨が散乱している。ここで自然死したのだろうか、まさか熊に襲われた？大杉を通過。大杉は巨大な腕のような枝が 2 本左右にガッツポーズをしているように見える。途中で山の会の観察ブナに寄り、状態を観察した。（注・2）どれも元気であった。ブナの実がなっていた。実は枝から真上に向かって生えており、その真下には、クシャっとした花びらの残骸のようなものがあつた。

傾斜が急になってくると足を上げる高さが増し、膝を 90 度まで曲げて足を上げないといけないような段差では、相当の踏ん張りがいる。自然に唸り声が出る。20kg 以上を背負っての登りは久しぶりで、14 年前、山を始めた夏の、23kg を担いだ槍ヶ岳を思い出した。あの時は周りを楽しむ余



ブナ観察木・NO. 1 大沢下部（愛称＝まりこ）



アシタカツツジ

裕はなく、足元だけ覗んでいた。肩にベルトが食い込んで痛いので、位置を時々ずらした。

空気は冷たいが、サウナにいるように汗が落ちる。葉が大きいミツバツツジと葉の小さいアシタカツツジが各所に咲いていた。コイワカガミや名前を聞いたが忘れた小さな白い花。（注・3）

小さき花は大変珍しい形をしている。割石峠が最初の目標地点だ。V字に割れた岩の隙間から向こう側の景色がすばらしい。ここで荷物の重さの話になった。私の荷物は後藤さんが持ってみて20kg ぐらいと判定。女性陣は、それぞれ私のも重いと主張。後藤さんは荷が軽いのか持たせてくれ

なかった。トイレに行くときも、いない間に重さを確認しないようにと言って消えていった。

ハシゴやロープがある急な場面もあり、重荷でなければひょいひょいと通過するが、荷が重いので一歩ずつ声を出さないと体が持ち上がらない。呼子岳では、男性から声を掛けられ、山の環境活動に興味があるのでグループ名を教えてくださいと言われ、山の会のホームページを見てほしいと説明し別れた。その後、越前岳頂上で再会した。周回かと思ったらピストンだった。

合谷さんは、杭をザックの横に2本ずつ差し込んでいるので、杭の先端は頭より高く左右に広がっている。周囲の木や枝に引っかかることが多く悪戦苦闘されていた。そのうちに、ラグビーでタックルをよけるように華麗に体を上下左右にひねりを加えて対処していた。私は大きなザックの中に杭を入れていたので上へのでっぱり具合が合谷さんほど高くなかったのであまり苦労しなかった。出発前に背負子（しょいこ）を使ってもよいと言われたがやめた。だいぶ前に同じルートで杭を水平にザックに取り付けて登ったことがあり、長さ80cmほどある杭が左右の木にぶつかり前に進むことが出来ないイライラを経験済みだったからだ。



ブナ結実（観察木 NO.4 呼子岳頂上 愛称=ひでこ）

頂上手前では、顔見知りの先期まで東部ブロックだったS山の会のグループ（注・4）とすれ違った。報告書のいつもの5人だねといわれた。そのグループは10人以上いたようだが、労山は5人以下を推奨している。私たちは5人だからノープロブレム（下山時、後藤さんが加藤さんのノープロブレムの発音の間違いを指摘していたが、最後まで治らなかったようだ。今日も夫婦漫才でした）。

近くで大きな雷が鳴り、雨が降ってきた。やばい、カップを置いてきた。通り雨だといわれ、頂上に着くころにはやんでほしいと願った。高度計を何度も見て、残りの高さをカウントダウンし、やっとのことで到着（11:50、3時間15分）。雨はやんでいた。

これまですれ違った人も多いが、頂上も人が多い。緊急事態宣言中も十里木駐車場はいっぱいだったそうなので、宣言解除でさらに増えただろう。空いたテーブルを確保しませんが腹ごしらえとなった。私はビール1本をあっという間に飲み干し、次の1本を、いただきもののごちそう（朝採れキュウリ、手羽元煮つけ）を食べながら飲んだ。

ここでも下界の景色が視界いっぱいに広がり贅沢な気分になった。駿河湾の海、長い千本浜、伊豆半島の山々、北には雪がだいぶん解け夏山の姿になってきた富士山。

境界ロープの向こう側は植物が密集している。ロープを設置する20年前は、登山者が休憩のた



何もない19年前の植樹地



ここに多くの登山者が  
立ち入っていた



2001.06.02 後藤撮影

めに入り込んでいたので植物がなかったそうだ。そこに会でブナを植え、ロープを張り、杭が古くなれば取り換えと、後藤さんや会の人々の20年のご苦労が実を結んでいる。須山から越前岳の保全を行政から依頼されている白髪を後ろでくくった男性（注・5）が、地元高校生男女2人（注・6）をつれて登ってこられた。

さあ作業開始だ。交換すべき杭を選び抜き取り、新しい杭をハンマーで打ち込む。古いロープを取り外す。新しいロープは端から順番に杭の穴に通し固定してから次の杭に移るので、何度も50mをたぐるので、時間がかかる。新しい杭は15本持っていったが、6本しか使わず9本持ち帰る事になった。下りの分担は3本で、登りの8本に比べれば軽いものだ。



4年ぶりの柵・ロープ交換

13:18 下山開始。あいかわらず従来の道は大きくえぐれ、横に新しいルートがある。割と急なので、これを20kg背負って登ったら大変だっただろう。

14:56 駐車場到着。下界の地面はかなり濡れていたもので、それなりに雨が降ったようだ。

予定では、駐車場から大沢に少し戻って、無事山を下りてこられたことを山の神様に感謝する儀式である「直会（なおらい）」という名の反省会（またの名をただの飲み会）だった。

これでは合谷さんがお酒を飲めないもので、場所を合谷さん宅のガレージに変更した。今回はいつものようなお昼の食料の残りではなく、重厚に準備がされていた。

後藤さんは、各種ホルモン（牛タン、豚タン、ハツ、ダイチョウウ、コメカミ）と後藤農場の朝採れキュウリ、タマネギ、キャベツ。加藤さんは、後藤さんの準備するホルモンは食べられないので

高級牛肉と豚肉を準備していた。ガスコンロ 2 台をテーブルに乗せ、焼き肉大会となった。なんとキャベツはひと玉あったが、全て食べてしまった。(注・7) オンラインでは得られない時間が流れた。ビール、ワイン、日本酒を飲み干し、合谷さんから果物のデザートをいただき 18:30 解散。

#### その他の記述 (ごとう)

- 注・1 ブナ観察は、2000年7月1日～、植樹地保護は、2001年6月2日～
- 注・2 春は活力度 (ブナの葉の元気具合)、秋は結実度 (ブナの実の出来具合) を観察。
- 注・3 マイズルソウ
- 注・4 駿東山の会。2010年、裾野麗峰山の会から分離独立。しかし本年、2020年諸般の事情で静岡県連を脱退した。
- 注・5 裾野の「愛峰山の会」のスギヤマさん。勝又一歩さんも80歳過ぎだがお元気の様子。
- 注・6 県立裾野高校生徒
- 注・7 この食欲、恐るべし。ウシ・ウマか??!!

以上

